

遺跡学研究

日本遺跡学会誌 第7号
2010

- 特集 1 近世城郭の保存とまちづくり
- 特集 2 縄文の遺跡と文化
- 研究論文
- 村野 正景 「エルサルバドル共和国における
遺跡保護に関する一考察
—文化遺産国際協力の向上のために—」
- 栗野 隆 「平城宮跡整備構想史」
- 魚津 知克・福井 亘・清水 一文・菅澤 敏弘
「兵庫県高砂市における歴史文化遺産の
現状と意義についての総合的分析の試み」

日本遺跡学会

ISSN 1349-4031

目 次

グラビア

平成21年度日本遺跡学会大会（姫路、平成21年11月28日・29日）

相谷熊原遺跡と日本最古級の土偶の発見

美しい遺跡の風景、史跡ユクエピラチャシ跡

ウズベキスタンの世界遺産

日本遺跡学会事務局 i

松室孝樹・重田勉 ii

大鳥居 仁 iii

石井 則孝 iv

特集1 近世城郭の保存とまちづくり

..... 1

□特別講演

大坂城遺構の保存と活用について

渡辺 武 2

城と城下町を活かしたまちづくり

本中 真 5

- 石垣保存技術の継承と新たなまちづくりの視点 -

□基調講演

石垣の伝統技術を探る

木越 隆三 13

□事例報告

竜山石切場の調査と保存活用 -歴史文化基本構想策定に向けて-

清水 一文 23

岡山城本丸の整備と活用

乗岡 実 30

特別史跡安土城跡の調査整備事業とまちづくり

近藤 滋 36

史跡と名勝庭園の保存と活用 -赤穂城跡と旧城下町のまちづくりについて-

宮崎 素一 41

姫路城の保存と姫路のまちづくり

大谷 輝彦 48

□総合討論

シンポジウム：近世城郭の保存とまちづくり

コーディネーター 田中 哲雄 52

特集2 縄文の遺跡と文化

..... 67

□展望

縄文遺跡の来し方行く末

小林 達雄 68

□論考：縄文の世界、世界の縄文 -アプローチの視点と方法-

現代に受け継がれていた縄文文化

岡村 道雄 82

縄文時代の環境と生態系史

辻 誠一郎 90

縄紋時代の記念物

小林 克 96

遺物が伝える縄文文化 ~遺跡における土器と土偶~

原田 昌幸 106

「縄文時代」の使われ方 -古環境復元と自然再生事業の接点-

山崎 健 112

縄文時代遺跡の保護

水ノ江和同 122

世界の中の縄文

宮本 一夫 128

北海道・北東北の縄文遺跡群、世界遺産への取り組み

岡田 康博 134

□事例：縄文遺跡と地域の暮らし -調査・研究と保存・活用-

伊達市噴火湾文化研究所の取り組み

大島 直行 140

大船遺跡の大規模堅穴住居群 -その保存・整備の軌跡-

阿部 千春 148

三内丸山遺跡の楽しみ方

小笠原雅行 154

御所野遺跡の縄文里山づくり

高田 和徳 160

里浜貝塚と松島湾の暮らし

菅原 弘樹 166

加曾利貝塚と地域文化の創生

村田六郎太 170

長者ヶ原遺跡とジオパーク

木島 勉 176

火焰街道博学連携プロジェクト

山本 哲也・金子 和宏 184

地域の担い手を育む遺跡の活用

大竹 幸恵 190

天白遺跡、西日本最大の配石遺構

和氣 清章 202

現代に受け継がれる大分の縄文

塩地 潤一 208

上野原遺跡と縄文の森

富田 逸郎 214

研究論文

エルサルバドル共和国における遺跡保護に関する一考察 －文化遺産国際協力の向上のために－	村野 正景	221
平城宮跡の整備構想史	栗野 隆	233
兵庫県高砂市における歴史文化遺産の現状と意義についての総合的分析の試み	魚津 知克・福井 巨・清水 一文・菅澤 敏弘	245

遺跡の現場から

オホーツク沿岸の先史と常呂遺跡群	武田 修	254
茅野遺跡と榛東村耳飾り館	角田 祥子	258
真脇遺跡における環状木柱列の復元	高田 秀樹	262
7千余年の複合遺跡国指定史跡 伊礼原遺跡	山城 安生・松原 哲志	266
北海道勇払郡厚真町 厚幌ダム建設に伴う発掘調査から	乾 哲也	270
桂離宮と「桂垣」	青木 達司	278

行政情報

『発掘調査のてびき－集落遺跡発掘編、整理・報告書編』の概要	近江 俊秀	280
平成21年度の史跡等の整備について	岩井 浩介・内田 和伸	284
近代の庭園・公園等に関する調査研究について	中島 義晴	292

研究余録

都市・集落を文化財とすること－伝統的建造物群と文化的景観－	松本将一郎	220
名勝庭園の指定名称	平澤 育	253
碩学が語る遺跡学史～遺跡から文化的景観へ～	恵谷 浩子	296

投稿規定		297
既刊号の有料頒布について		299
広告		307
編集後記		314